

生徒に寄り添い、自信をつけさせ、夢をカタチにする学校です。

【めざす学校像】

「一人ひとりが自信を持ち、他者の思いに共感できる生徒」を育て、社会に貢献できる学校

【生徒に育みたい力】

- あらゆる教育活動を通して、自分自身を肯定的にとらえる力。
- 多様な人々との出会いを通して、他者を尊重し豊かな人間関係をつくる力。
- 社会的・経済的・精神的に自立し、社会に貢献する力。

【教育課程等】

■教育課程編成方針

学び直し、キャリア教育、環境教育の実践など、北淀高校及び西淀川高校がこれまで実践してきた生徒に寄り添う取組みを継承・発展させた授業を行います。

- 1年次：朝の10分学習及び国語・数学・英語の30分のモジュール授業により基礎学力の定着を図ります。
- 2年次：各系列の専門科目と学校設定科目など多様な選択科目により、興味・関心・適性に応じた学習を行います。
- 3年次：生徒の希望する進路を実現するため、進学や就職に対応した多様な選択科目を設定し、社会で活躍する力を身につける学習を行います。

■教育課程のイメージ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1年次	基礎国語		基礎数学			コミュニケーション英語Ⅰ			社会入門	理科入門	体育	保健	芸術Ⅰ	家庭基礎	社会と情報	人生設計学	エンパワメントタイム ^{*2}			10分学習												
2年次	国語総合			数学Ⅰ 数学A		コミュニケーション英語Ⅱ		世界史A	科学と人間生活	体育	保健	選択科目 (8単位)					エンパワメントタイム			LHR												
3年次	現代文A	数学Ⅱ		コミュニケーション英語Ⅱ		現代社会	日本史A	生物基礎	体育	選択科目 (10単位)					エンパワメントタイム																	

*1 エンパワメントタイムとは、例えば「ハンバーガー屋の店長になってみよう」といった「正解が一つでない問題」について、グループ学習や参加体験型学習を通してみんなで考え、社会で活躍するために必要な力を育成する授業のこと。

■系列設置の趣旨

生徒一人ひとりの夢を育み、多様な進路が実現するよう、北淀高校及び西淀川高校の特色ある取組みを継承し発展させた4つの系列を設置し、生徒の興味・関心や進路に応じた授業を行います。

【系列の内容と主な科目の例】

- ①「情報・アート」系列⇒ICTを活用して情報や美術に関するスキルを育成するとともに、豊かな人間性を育み、情報デザイン系、芸術系の大学・専門学校への進学や企業への就職をめざします。

科目名…映像編集、プログラミング、ITパスポート、デザインワーク、ベーシックアート、アートワーク
資格…ITパスポート、情報処理検定、ホームページ作成検定、色彩検定、美術検定

- ②「ビジネス・教養」系列⇒ビジネスに必要なマナーやコミュニケーションスキルなどの基礎的知識・技能を学ぶことを通して、社会人基礎力を身につけ、企業等への就職をめざします。

科目名…時事社会、暮らしの数学、硬筆入門、英語で読むニュース、パソコンの仕事術、ビジネスマナー、ソーシャルスキルトレーニング、
資格…日本語ワープロ検定、ニュース時事能力検定、硬筆書写検定

- ③「環境・健康」系列⇒公害や地球温暖化等の課題の追求、清掃活動等のボランティアでの体験学習を通して環境や健康について学び、社会や人の課題を見つけ解決する力を身につけ、環境・健康系の大学・専門学校への進学や企業への就職をめざします。

科目名…環境Ⅰ、環境Ⅱ、スポーツ総合演習、トレーニング実習、フードデザイン、ライフスポーツ、地球を知ろう、ボランティア入門
資格…環境社会検定

- ④「数理・人文」系列⇒文系・理系の様々な学習を通して、基礎学力と応用力を身につけ、大学や専門学校への進学をめざします。

科目名…国語発展演習、表現演習、看護数学、看護理科、英語発展演習、数学発展演習
資格…漢字検定、数学検定、英語検定

【特色ある取組み】

■「グローバル^{*2}人材の育成」

- 北淀高校及び西淀川高校で取り組んできたユネスコスクール^{*3}活動を継承し、JICA（国際協力機構）等の協力を得て外部講師の指導によるグループワークや外国人留学生との交流会等を実施することに加え、世界的な課題から身近な問題を学ぶESD^{*4}の実践等を通して、グローバル人材を育成します。

■「社会へつなぐキャリア教育」

- クリエイトルームでは、社会で即戦力となる生徒を育成するために、プロ仕様の画像編集ソフトを用いて地域の商店等と協働で広告を作成するなど、実践的な創作活動を行います。
- 社会の諸課題を知り、地域に貢献する力を育成するために、公害・震災・生涯スポーツなど環境・健康に関する体験学習を行います。

■「様々な立場の人々との交流を通して生徒の自信を育み、他者につながる教育」

- 文化祭や体育祭など学校行事における保育園、介護施設、支援学校、中学校等との交流や、地域での清掃・緑化等のボランティア活動を通して、自他を尊重する思いや豊かな人間関係を育てる取組みを行います。
- プレゼンルームでは、地域の方を招いて、生徒の作成した映像作品等の上映や、エンパワメントタイム及び系列の授業の成果発表を行うなど、校内だけでなく地域や関係機関との交流も深めます。

*2 グローバルとは、グローバルとローカルを掛け合わせた造語で、「地球規模の視野で考え、地域視点で行動する」という考え方のこと。

*3 ユネスコスクールとは、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校のこと。

*4 ESDとは、Education for Sustainable Developmentの略でユネスコスクールの取組みの一つ「持続可能な開発のための教育」のこと。

【成果指標】

- 進路決定率について、全国平均（H24：94.4%）以上 <H28：北淀 92.8% 西淀川 79.4%>
- 学校教育自己診断における生徒の学校生活満足度を80%以上 <H28：北淀 65.1% 西淀川 65.0%>
- 就職1次内定率75%以上で、就職内定率100%を維持 <H28：北淀 100% 西淀川 100%>
- 福祉、環境、体育、栄養系への進学者及び就職者数30人以上 <H28：北淀 24人 西淀川 10人>